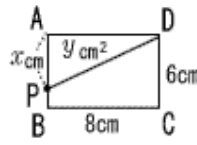


□ 1次関数と図形(動点問題) → 点の動く距離と、三角形の面積との数量関係は、1次関数

★ 点PがAからBまでxcm動くとき、  
△APDの面積を $y\text{cm}^2$ とします。  
yをxの式で表しなさい。



$$0 \leq x \leq 6 \text{で,}$$

$$y = \frac{1}{2} \times 8 \times x = 4x$$

$$y = 4x$$

印刷して、紙の上でやってネ!

AB = 6cm, BC = 4cm, ∠B = 90°の直角三角形ABC上を点Pが、AからB, Cまで毎秒1cmの速さで進むとき、x秒後の△APCの面積を $y\text{cm}^2$ とします。点Pが次の位置にあるとき、yをxの式で表しなさい。

1	(1) 点Pが辺AB上にあるとき, ( $0 \leq x \leq 6$ )		(3)	<p>(1),(2)のグラフをまとめてかきなさい。</p>
	(2) 点Pが辺BC上にあるとき, ( $6 \leq x \leq 10$ )			

1辺8cmの正方形の边上を点Pが、AからB, C, Dまで毎秒2cmの速さで進むとき、x秒後の△APDの面積を $y\text{cm}^2$ とします。点Pが次の位置にあるとき、yをxの式で表しなさい。

2	(1) 点Pが辺AB上にあるとき, ( $0 \leq x \leq 4$ )		(4)	<p>(1)~(3)のグラフをまとめてかきなさい。</p>
	(2) 点Pが辺BC上にあるとき, ( $4 \leq x \leq 8$ )			
	(3) 点Pが辺CD上にあるとき, ( $8 \leq x \leq 12$ )			